

○7番 松本颯心君

行橋中学校3年、松本颯心です。私は、お年寄りにやさしい公共交通について、質問します。

同居する祖母が足を悪くしてしまい、買物に行くことが困難となりました。行橋市でも少子高齢化は進んでいるため、祖母のように自由に外出できないお年寄りが増えているのではないのかと考えます。車を持っていない、または免許証を返納したお年寄りが移動するためには、路線バスなどの公共交通を利用すると思いますが、行橋市の路線バスを含めた公共交通機関の現状と課題を教えてください。

○議長 礒元樹恵琉君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 田中純君

お答えを申し上げます。今現在、行橋市内を走っているバスは、太陽交通が、これは駅を中心として放射線状に11本、それから西鉄バスが北九州市行きと、後は高速道路で福岡行きでしたか、それがあります。

それからJRは御承知のとおり行橋駅、新田原駅等、あと平筑の駅が市内に3箇所ほど、泉の方向に向かってコスタ駅も含めて、その今申し上げたような電車・バスが市内の公共交通機関ということは言っていると思います。

だけでも恐らく議員の御質問は、それが適宜住民の方の本当の意味での利用の役に立っているのか、というような御質問かと思われかもしれませんが、JR等につきましては、当然皆さんのお役に立っていることは疑問の余地はないんですけれども、バス路線については、率直に言って乗車率もあまり高くなく、実際の皆さんの足として、十二分に役に立っていると言い難い状況であるということは、十分認識しております。以上です。

○議長 礒元樹恵琉君

松本議員。

○7番 松本颯心君

ありがとうございます。今お答えしていただいた課題で、利用者を増やすことについて、再質問させていただきます。

私は、バスの利用者を増やすために、バスを増便したりルートの見直しを行い、市内全域を網羅することを提案します。また、お年寄りの主な目的地である、買い物施設や病院をめぐる循環バスなどを走らせることで、利用が増えるのではないかと考えます。この提案についての考え、及び行橋市として今後公共交通に対しての施策として何か考えていることがあれば、お答えください。

○議長 礒元樹恵琉君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 田中純君

お答えを申し上げます。松本議員の御指摘の趣旨、それから御指摘の内容、これは我々も十分理解しているつもりですけれども、その解を求めるのは極めて困難、難しい。正直言って、これがあれば大丈夫というような解を、私たちは、残念ながら持ち合わせていません。そのことは、ここで言うというのも変な話ですけども、それが現実であります。

ただし、将来、20年、30年、あるいはもっと先を見据えた場合は、行橋市のまちづくりは、いわゆるコンパクトシティという考え方のもとに今後まちづくりを進めていこう、というのが基本構想の一つとしてあるわけでありますので、コンパクトなまちづくりを行って、その間を公共交通で結ぼうという考え方を基本的に持っておきまして、これを時間がかかってでも逐年進めていくつもりでありますので、効果が即出るというわけにはまいりませんが、時間をかけて少しずつコンパクトで公共交通の整ったまちづくりを目指していきたいと思っておりますので、少し長い目で見ていただければと思っております。以上です。

○議長 礒元樹恵琉君

松本議員。

○7番 松本颯心君

御答弁、ありがとうございました。これで私の一般質問を終わります。

ありがとうございました。